

君<sup>きみ</sup>だったらどうする？

よしこさんの家<sup>いえ</sup>に行く。

こども110番<sup>ばん</sup>のいえに

かけ込んで公園<sup>こうえん</sup>のおじさ

んのことを知らせる。



健<sup>けん</sup>太<sup>た</sup>くんの後<sup>あと</sup>を追<sup>お</sup>いかけてきた

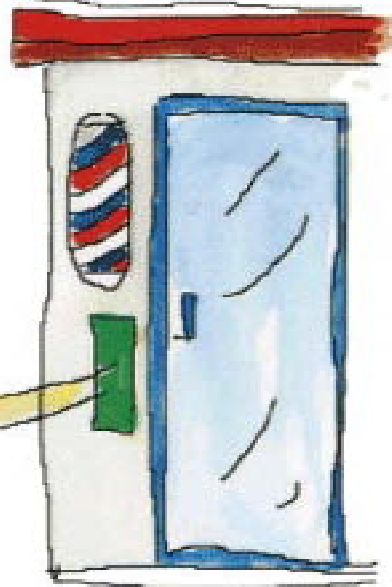
おじさんは、太郎<sup>たろう</sup>くんがいたので

どこかへ行ってしまいました。

公園<sup>こうえん</sup>を出<sup>で</sup>ました。

公園<sup>こうえん</sup>の前<sup>まえ</sup>に、こども110番<sup>ばん</sup>の

いえーがあります。



「こども110番<sup>ばん</sup>のいえ」は、子どもがあや

しい人<sup>ひと</sup>に声<sup>こえ</sup>をかけられたり、危険<sup>きけん</sup>を感じたり

したとき<sup>とき</sup>にかけ込むお家<sup>うち</sup>やお店<sup>みせ</sup>などだよ。

だから、このような時<sup>とき</sup>にはかけ込んで、そこ

のお家<sup>うち</sup>の人<sup>ひと</sup>に知らせなきゃだめだよ。

